

第29回 保健福祉学会長賞 受賞者コメント



■ 発表のきっかけ

コホート検討会で備中県民局管内の結核についてまとめた際、高梁市地域の罹患率が高いことが分かりました。結核審査会の委員からも「なぜ多いのか」と問われ、所内の職員とも要因について意見交換を行いました。その過程でさらに調べてみたいと考え、発表に至りました。

■ 受賞後の変化／発表してよかったこと

今回はデータ分析の手法を用いました。日常の業務で「多い」「少ない」と感じることも、数字やグラフで示すことで根拠を持って説明でき、理論的に話すことにつながります。分析の過程で自分の理解や考えも整理でき、論文を書くときだけでなく、普段の業務にも役立つと実感しました。どの分野においても大切な視点だと改めて思いました。

- 氏 名：村木 麻有果
- 所 属：備北保健所保健課 保健対策班（発表時点）
- 職 種：保健師
- 発表演題：「高梁市地域は結核患者が多い？」
～備北保健所管内の結核について分析～

■ 保健・医療・福祉の職場へ働く仲間へ一言

今回の発表は、職場の皆さんの理解や協力があったからこそ形にできたと思っています。論文発表は難しそうに感じるかもしれませんが、取り組む中で地域や事業を整理することができ、新たな気づきも得られます。機会があれば、論文にまとめて発表してみるのもいいと思います。

第28回学会 保健福祉学会長賞 受賞者コメント



氏名：秋山 倅慧 様

現所属：美作保健所勝英支所地域保健課 地域保健班

職種：保健師

発表演題：「COVID-19の高齢者入所施設クラスターにおける施設内療養者の重症化に与える要因の検討」

☆発表のきっかけ

コロナの第6波頃から個人的にコロナに関する分析を開始し、第7波頃からゲノム解析結果やクラスターの分析を始め、結果を所内で共有していました。第8波のときに同期の保健師の力を借りて今回発表した内容の原型となる分析を行い、当時の直属上司や所長に報告しました。こうした背景の中、周囲の理解や上司の後押しもあり発表の機会をいただきました。私の思いとしては、入庁してからずっと頑張ってきた経験をどうにか伝えたい、どこかに残したいという気持ちがありました。

☆受賞した時の気持ち

チームとしての頑張りが認められて嬉しかったです。また、令和2年度からのコロナ対応のひとつの区切りのように感じ、ほっとした気持ちもありました。

☆受賞後の変化

分析のブラッシュアップの中でデータの扱い方や分析的な視点が身についたように思います。現在は感染症とは異なる業務を担当していますが、分析的な視点を求められることも多く、経験が活かされていると感じています。学会発表までの一連の経験が、現在の業務の中でも自信に繋がっています。

☆保健、医療、福祉関係の職場で働く仲間へ一言

現場で努力してきたこと、辛かったこと、うまくいったことなど、一生懸命取り組んだことの中に、「なぜ？」という疑問が生まれるのだと思います。小さな疑問を受け止めてくれる人がいて、後押ししてくれる方々がいることが、大きな流れに繋がっていくことを今回の経験で実感しました。私にとって今回の学会参加はとても楽しく貴重な経験となりました。ありがとうございました。

氏名：森本 克美 様
所属：カレッジ旭川荘
職種：支援教員



発表演題：福祉制度を利用した「福祉型大学」の認識の変化についての一考察
～特別支援学校高等部教員への意識調査を通して～

☆発表のきっかけ

この学会で発表させていただこうと思ったきっかけは、カレッジ旭川荘の大月学院長から岡山県保健福祉学会が県の保健福祉の水準向上を目的として設立されたことを教えていただいたことです。また、学院長の勧めもあり、先進的な取り組みをしている「カレッジ旭川荘」のことを少しでも県内の皆様方に知っていただく機会になればと思い、勇気をもって発表させていただきました。

☆受賞した時の気持ち

この度は、「こども・福祉部長賞」という名誉ある賞を賜り、誠にありがとうございました。大変光栄に存じます。また、思いがけない受賞に非常に驚いたのと同時に身の引き締まる思いでいっぱいです。選考委員の先生方、またこの会を運営しておられる関係者の皆様方、心から感謝申し上げます。

☆受賞後の変化

私には、知的障害のある生徒の特別支援学校卒業後の学びの場が少ないという課題意識があります。どのような指導目標や計画を立て、どのような内容を指導すればよいか、日々手探りの状況ですが、このたびの受賞を契機として、日頃の職務により一層熱心に取り組んで一人でも多くの障害のある学生の社会自立に貢献できるよう取り組んで参りたいと思っています。

☆保健、医療、福祉関係の職場で働く仲間へ一言

県内の保健、医療、福祉の現場や行政機関等で日々地道な実践や研究を進めておられる方も多かろうと思います。この学会で自分の研究成果を発表することで、多くの方からご指導やご助言をいただくことができ、今後の研究や実践の励みになると思います。皆様方も岡山県保健福祉学会で日頃の研究成果を発表されることをお勧めします。